

## 関西観光・文化振興計画検討委員会設置要綱

### (目的)

第1条 この委員会は、関西広域連合の「関西観光・文化振興計画」(以下「計画」という。)の見直しに当たり、これまでの取り組みを検証し、新たな社会経済情勢の変化等を踏まえた計画としてまとめるため、各分野からの有識者・専門家からなる委員会を広域観光・文化・スポーツ振興局内に設置する。

### (名称)

第2条 この委員会は、関西観光・文化振興計画検討委員会(以下「委員会」という。)と称する。

### (所掌事務)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の検討に関すること。
- (2) その他計画の作成にあたって必要なこと

### (委員)

第4条 委員は次の分野から構成する。

- (1) 観光に関する有識者
- (2) 文化に関する有識者
- (3) 経済界

### (委員会開催)

第5条 委員会は関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局長が招集する。

- 2 委員会には、委員のうちから互選により座長1名を置き、座長は委員会のとりまとめを行う。
- 3 委員会は、第1条の目的を達成するために、年3回程度必要に応じて開催する。
- 4 座長が必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求めることができる。

### (意見聴取)

第6条 座長が必要と認めるときは、委員以外の専門家等に意見を求め、計画検討の参考にすることができる。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局において行う。

### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この設置要綱は、平成26年7月18日から施行する。

この設置要綱は、平成29年3月28日から施行する。

## 関西広域連合 関西観光・文化振興計画検討委員会委員

区分	人数	氏名 (敬称略) (五十音順)	役職・経歴
観光・文化に関する有識者	4人	かわうち おつろう 河内 厚郎	文化プロデューサー 公益財団法人阪急文化財団理事、兵庫県立芸術文化センター特別参与
		きかがみ ひでひこ 坂上 英彦	嵯峨美術大学芸術学部デザイン学科教授 元日本総合研究所主任研究員 等
		はしづめ しんや 橋爪 紳也	大阪府立大学21世紀科学研究機構教授・大阪府立大学観光産業戦略研究所長 ・橋爪総合研究所代表 大阪府政策アドバイザー、大阪府特別顧問・大阪市特別顧問 等
		ひろおか ゆういち 廣岡 裕一	和歌山大学観光学部観光学科教授
旅行業界	1人	しおみ まきなり 塩見 正成	(株)JTB西日本観光開発統括シニアプロデューサー

## 「関西観光・文化振興計画」の見直しについて

### 1 趣旨

「関西観光・文化振興計画」(平成24年3月策定)について、前回の改訂(平成27年3月)後3年を経過し<sup>\*</sup>、訪日旅行者の急増などインバウンド観光を取り巻く市場、社会情勢の変化等を踏まえ、また、事業推進計画の期間満了に伴い、計画の見直しを行う。

#### [現行計画の期間]

計画期間は、概ね関西ワールドマスタースゲームズ2021が開催される2021年(平成33年)までの期間を見据え、社会情勢等の変化など、必要に応じて計画の見直しを行う。また、事業推進計画は、平成27年度から29年度の3年間とし、計画期間の満了年度に見直しを行う。

<sup>\*</sup>平成28年8月に数値目標の見直しに合わせて一部追加、改訂を実施。

### 2 想定される論点

- (1) 関西の観光・文化振興を取り巻く新たな動き  
文化庁の移転による文化観光、文化産業の拡がり など
- (2) 国際的イベント等への対応  
2019年から始まる国際的なスポーツ大会の開催を見据えた具体的な展開 など
- (3) 目標達成のための戦略、戦術の練り直し  
インバウンド市場の動向(東南アジアの定着等)、旅行形態、嗜好や消費動向の変化 など
- (4) 受入環境整備  
宿泊施設不足、Wi-Fi連携の拡大等への対応 など
- (5) 関西観光本部を中心としたオール関西での推進体制の確立  
広域連携DMO関西観光本部との連携体制

### 3 計画の策定時期

平成29年度中

### 4 策定スケジュール

- 6～7月 中間案素案の取りまとめ
- 7～8月 第2回検討委員会(中間案の検討)
- 11月頃 パブリックコメントの実施
- 1月頃 第3回検討委員会(最終案の検討)

## 関西観光・文化振興計画(現行)の構成

## はじめに

府県という枠組みを越えて関西を一つとして捉え、関西の国際観光振興及び文化振興の戦略的取組の方向と重点的な施策の取組を明らかにするもの。

## 1 計画の目的・期間

- 関西が一体となり戦略的に取り組むべき重点分野、事業、目標等を策定
- 概ねワールドマスタースゲームズ 2021 関西が開催される 2021 年までの期間を見据えたもの
- 事業推進計画の期間は平成 30 年度～33 年度

## 2 現状と課題

## (1)国際観光(インバウンド観光)振興

## ① 現状

- 日本の外国人観光客受入数 2014 年に世界第 22 位
- 訪日外国人客数は多い順に、中国、韓国、台湾、香港、米国
- 関西への訪日外国人訪問率は全国の 4 割を占め、首都圏に次ぐ国際観光圏
- 関西国際空港や鉄道網の整備など移動が容易で、地域のホスピタリティーも高い。

## ② 課題

- インバウンド市場の変化
- 戦略的マーケティングの必要性
- 関西ブランドの構築と発信
- 外国人観光客の受入体制の整備

## (2)文化振興

## ① 現状

- 文化財、豊かな自然環境、伝統芸能・祭礼から現代芸術に至るまで数多くの有形・無形の文化資源が集積
- 「関西文化の日」など、関西各地の文化の力を結集し、「文化力」を発信するための各種取組を幅広く展開してきたものの、まだ緒に就いたところ

## ② 課題

- 文化資源の輝きを守り、その魅力を一層向上させる必要
- 関西文化としてまとまりをもった情報発信
- 域内の連携交流に取り組む環境づくり

## 3 計画の基本方針と目標

- 基本方針 1 国際観光なくして関西の発展なし
  - 基本方針 2 文化観光資源の宝庫・強みを活かす
  - 基本方針 3 関西ファンをつくる
  - 基本方針 4 文化芸術の継承・創造を通じて観光を振興する
  - 基本方針 5 「関西は一つ」になって観光に取り組む
- 将来像 「アジアの文化観光首都」

### 数値目標

#### ① ブランド力のアップ

	2013年(改定時)	2015年(実績)	2020年(目標)
関西への訪日外国人訪問率	33.3%	40.0%	45.0%
関西への訪日外国人旅行者数	約345万人	約790万人	1,800万人

#### ② 周遊力、滞在力のアップ

	2013年(改定時)	2015年(実績)	2020年(目標)
関西での外国人延べ宿泊者数	793万人泊	1,592万人泊	3,700万人泊
関西での訪日外国人旅行消費額	約4,700億円	約1兆3,900億円	3兆円

## 4 目標達成のための戦略

### (1) 国際観光

戦略テーマ I 「KANSAI」を世界に売り込む

- ① 関西の魅力あるオリジナルを世界に発信
- ② 関西文化を世界に売り込む
- ③ 「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開
- ④ 世界水準の広域観光周遊ルートづくり
- ⑤ 文化財等の観光資源としての開花
- ⑥ 文化観光の推進

#### 戦略テーマⅡ 新しいインバウンド市場への対応

- ① 観光需要の創出と展開
- ② MICE の取組強化
- ③ 新しい市場への対応

#### 戦略テーマⅢ 的確なマーケティング戦略による誘客

- ① 国・地域別誘客
- ② 関西の魅力分析からマーケットを創出
- ③ KANSAI WEB戦略

#### 戦略テーマⅣ 安心して楽しめるインフラ整備の拡充

- ① 関西国際空港の魅力向上
- ② おもてなし・利便性の向上
- ③ 安心・安全の確保
- ④ 人材育成
- ⑤ 新たなゲートウェイからの誘客
- ⑥ 宿泊施設不足への対応

### (2) 文化振興

#### 戦略テーマⅠ 関西文化の魅力発信

- ① 「関西文化」の認知度とイメージの向上
- ② 連携交流による関西文化の一層の向上

#### 戦略テーマⅡ 関西文化の継承とプラットフォームづくり

- ① 関西文化の次世代継承と人材育成
- ② 情報発信・連携交流・人づくりを支える環境（プラットフォーム）づくり

### (3) 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

- ① 国とも連携した関西文化プログラムの実施
- ② 戦略的誘客
- ③ オリンピック後にも活かせる環境の整備
- ④ 人材育成

## 5 実現に向けた進め方

(1) 関西国際観光推進本部の設立

経営能力の向上、マーケティング機能の強化

(2) 規制改革・権限移譲等

空港税の免税制度、ビザ緩和措置の導入の国への要望

(3) 事業推進計画 (27年度～29年度)

## 関西観光・文化振興計画の進捗状況等

平成29年5月現在

※実施状況 ○：実施、一部実施 △：今後実施予定または実施を検討 ×：未実施、実施するかも含め今後検討等が必要

計画の内容		進捗状況	実施状況
	関西への訪問外国人訪問率 45% (2020年)	関西への訪問外国人訪問率 42.6% (2016年) ※出展：観光庁「訪日外国人消費動向調査」	—
	関西への訪日外国人旅行者数 1,800万人 (2020年)	関西への訪日外国人旅行者数 約1,024万人 (2016年) ※訪日外国人旅行者数2,404万人 (NTO)と関西訪問率から算出	—
	関西での外国人延べ宿泊者数 3,700万人泊 (2020年)	関西での外国人延べ宿泊者数 1,745万人泊 (2016年) ※出展：観光庁「宿泊旅行統計調査」	—
	関西での訪日外国人旅行消費額 3兆円 (2020年)	関西での訪日外国人旅行消費額 約1兆5,965億円 (2020年) ※訪日外国人旅行消費額3兆7,476億円 (観光庁)と関西訪問率から算出	—
(1) 目標達成のための戦略 (国際観光)			
戦略テーマⅠ 「KANSAI」を世界に売り込む			
①関西の魅力あるオリジナルを世界に発信	「はなやか関西」をコアコンセプトに、「KANSAI」を発信	関西観光のポータルサイト「関西観光web」HPにおいて発信する他、広域観光周遊ルート「美の伝説」の事業の中で取り組んでいる。	○
	関西の魅力を組み合わせたツアールートの確立	関西観光のポータルサイト「関西観光web」において、8つのテーマで広域観光ルートを設定し、HP等で紹介している。	○
	他の観光圏と連携した広域ツアールートの確立	広域観光周遊ルート「美の伝説」と、隣接する他の広域観光周遊ルートとの連携について検討している。	△
	関西の放送コンテンツの発信		×



	歴史を感じさせる文化的な地域というイメージの創り上げ	関西観光のポータルサイト「関西観光web」の広域観光ルートの中に、歴史・文化が感じられる世界遺産等を盛り込み、発信している。	○
②	関西文化を世界に売り込む	日本の食文化、和食の発信 ガイドツアー、ナイトツアーなどの促進	○
③	「KANSAI国際観光YEAR」の展開	KANSAIブランドの売り込み	○
④	④世界水準の広域観光周遊ルートづくり	周遊ルートづくりの推進、情報発信の強化	○
⑤	⑤文化財等の観光資源としての開花	「魅せる文化財づくり」の推進	×
⑥	⑥文化観光の推進	関西の文化に親しみ体験できる文化観光の推進	○
<b>戦略テーマⅡ 新しいインバウンド市場への対応</b>			
①	観光需要の創出と展開	関西の見える所のタイムリーな発信	○
		関西の生活文化をアピールするツアールートの確立	○
		関西クールジャパン事業の展開	○
		船やレンタカーを使った新しい広域観光スタイルの確立	○
		統合型リゾート施設(IR)の検討	△

②MICEの取組強化	「KANSAI MICE」の誘致	関西ワールドマスタースターズゲームズ2021などを控えオール関西で取り組んでいく。	△
③新しい市場への対応	FITへの情報発信、ファムトリップの実施 ターゲット国に応じたプロモーション、情報発信	ナイトライフやエンターテインメントをテーマにした広域観光ルートを提案し、情報発信している。 トッププロモーションや広域観光周遊ルート「美の伝説」の事業の中で実施している。	○
戦略テーマⅢ 的確なマーケティング戦略による誘客			
①国・地域別誘客	リピーターへの情報発信 国・地域を踏まえた情報発信	広域観光周遊ルート「美の伝説」において、個人旅行者（FIT）をターゲットとした旅行博出展等のプロモーションを実施している。 「KANSAI観光大使」を任命し、メディアやSNSを通じて積極的に関西の魅力発信に努めてもらっている。	○
②関西の魅力分析からマーケットを創出	関西への外国人旅行者の動向等の把握 文化観光資源の掘り起こし、情報発信	関係機関が実施する統計データによる把握に加え、関西ワンパスやフリーWi-Fiの利用状況から把握を行うことを検討している。 外国人観光客のニーズ調査と合わせて、文化観光資源の掘り起こしに取り組んでいくことを検討する。	△
③KANSAI WEB戦略	SNSなど多様な発信手段、関西観光WEB等の多言語化	関西観光のポータルサイト「関西観光web」及びfacebookにより、関西の多種多様な魅力の発信を行っている。	○
戦略テーマⅣ 安心して楽しめるインフラ整備の充実			
①関西国際空港の魅力向上	LCCの新規路線の開設・拡大、到着時免税制度の導入		×

	<p>無料Wi-Fiの整備、利用エリアの拡大、認証手続きの簡素化の推進</p> <p>観光案内標識等の多言語対等の促進</p> <p>「KANSAI ONE PASS」の利用促進</p> <p>ムスリム対応の拡大</p> <p>免税店の拡大等決済環境の整備</p> <p>通訳案内士の資質向上、通訳ガイドの育成</p>	<p>2016年に関西で一度認証すると、以降の認証が不要となる「KANSAI Free Wi-Fi(Official)」を導入した。</p>	○
②おもてなし・利便性の向上		<p>広域観光周遊ルート「美の伝説」の事業の中で、利用実態の適確な分析を行いながら、PR活動を強化し、販売拡大に努めている。</p> <p>関西観光WebにおいてHPで情報発信を行っている。</p>	△
③安心・安全の確保			○
④人材育成		<p>通訳案内士について、毎年研修を実施し、資質向上に努めている。</p>	△
⑤新たなゲートウェイからの誘客		<p>広域観光周遊ルート「美の伝説」の事業の中での取組を検討していく。</p>	△
⑥宿泊施設不足への対応		<p>広域観光周遊ルート「美の伝説」等、広域観光の取組を実施することにより、宿泊客の分散化を図っていく。</p>	△

(2) 目標達成のための戦略（文化振興）	
戦略テーマⅠ 関西文化の魅力発信	
①「関西文化」の認知度とイメージの向上	<p>「文化の道」事業を展開</p> <p>「関西文化.com」を通じて芸術文化情報を発信</p> <p>関西の地の利を活かした情報発信</p> <p>「関西文化の日」を通じて関西の文化に親しむ機会の充実</p> <p>「関西元気文化圏推進フォーラム」を関西各地で開催</p> <p>世界遺産等の観光周遊ルートに関係団体とも連携して確立</p>
○	地域文化の結晶ともいえる伝統ある祭りを6言語で発信するウェブサイトの整備や関西の古典楽劇にゆかりのある場所を、冊子にとりまとめ、作品の舞台への周遊につなげる取組等を行っている。
○	関西文化.comを活用し、関西各地の文化イベント情報等を発信している。
○	関西の古典楽劇にゆかりのある場所を、冊子にとりまとめ、作品の舞台への周遊につなげる取組を行っている。
○	関西2府8県の協力を得て、関西文化の日を実施し、文化資源に気軽に接する機会を提供している。
○	毎年、関西の2箇所においてフォーラムを開催している。
○	歴史街道推進協議会等と連携し、周遊につながる歴史文化遺産リーフレットなどを多言語で作成するとともに、歴史文化遺産フォーラムを開催し、周知に努めている。
戦略テーマⅡ 関西文化の継承とプラットフォームづくり	
① 関西文化の次世代継承と人材育成	<p>事業について、はなやか関西・文化戦略会議で検討・実施</p> <p>人材育成に取り組む</p>
○	若手文化人材による関西文化の魅力発信シンポジウムの企画実施等を通じ、人材育成につなげている。
○	はなやか関西・文化戦略会議で東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業展開について提言（第1次）がとりまとめられた。
○	

(3) 目標達成のための戦略(東京オリンピック・パラリンピック等に向けて)			
	はなやが関西・文化戦略会議で検討	はなやが関西・文化戦略会議で東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業展開について提言(第1次)がとりまとめられた。	○
	関西文化首都年事業を関西各地で実施	関西各地に存在する文化資源を、古墳や日本遺産など年次テーマに沿ってPRする歴史文化遺産フォーラムを開催している。	○
①国とも連携した関西文化プログラムの実施	文化資源を活用したイベントへの情報発信による支援	関西文化.comを活用し、関西各地の文化イベント情報等を発信している。	○
	統一的な名称を冠し発信	関西元気文化圏参加事業として発信してきた。今後は、東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会が東京オリパラ参画プログラムの認証を、内閣官房がbeyond2020の認証を開始しており、両認証制度の周知を図っていく。	△
	SNSの活用などによる広報	関西文化.comを活用し、関西各地の文化イベント情報等を発信している。また、関西広域連合facebookを通じて、広域連合主催事業等を発信している。	△
②戦略的誘客	ワールドマスターズゲームズ2021関西との連携	今後、組織委員会の取組強化が図られていく中で連携事業を検討する。	△
③オリンピック後も活かせる環境の整備	既存施設の国際化対応	今後、検討を行う。	△
④人材育成	観光プロデューサーの人材育成		×
	文化プロデューサーの人材育成	若手文化人材による関西文化の魅力発信シンポジウムの企画実施等を通じ、人材育成につなげている。	○
	外国人観光客向けボランティアの育成	今後、組織委員会とともに人材育成方策を検討していく。	△
5 実現に向けた進め方			
(1) 関西国際観光推進本部の設立	経営能力の向上、マーケティング機能の強化	2017年に「一般財団法人 関西観光本部」として設立し、経営体制やマーケティング・プロモーション機能等の強化を図っている。	○
(2) 規制改革・権限移譲等	空港税の免税制度、ビザ緩和措置の導入の国への要望		×

(3) 事業推進計画(24年度～26年度)		
観光・文化が一体となったKANSAIブランドの展開	歴史・文化、景観、世界遺産、温泉、エンターテインメント、ものづくり・コンテンツなど関西の多種多様な魅力を8つのコースに分けて提案、紹介。	○
海外プロモーションの実施	中国、韓国、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、オーストラリア・ニュージーランドにトップブランドプロモーション及び観光プロモーションを実施。	○
「KANSAI国際観光YEAR」の展開	官民による実行委員会を組織し、1年間を通じて共通のテーマを設定し、連携してKANSAIの魅力を世界に発信。	○
ITによる観光情報発信	関西観光のポータルサイト「関西観光web」及び「facebook」により、関西の多種多様な魅力を発信。	○
関西文化の魅力発信	「文化の道」事業の展開や「関西文化の日」の実施を通して、関西文化の魅力を世界に発信。	○
東京オリンピック・パラリンピック等に向けた展開	はなやか関西・文化戦略会議の検討を受け、歴史文化遺産フォーラムや国際シンポジウムなど関西文化プログラムを実施。	○
安心して楽しめるインフラ整備の充実	2016年に関西で一度認証すると、以降の認証が不要となる「KANSAI Free Wi-Fi(Official)」を導入した。	○
広域観光推進体制	2017年に「一般財団法人 関西観光本部」を設立し、広域観光を官民連携で推進する体制を整備した。	○
国への提案・要望等		×

## 2021年までに予定される主な国際大会・国際会議（スポーツ関連等）

開催日	イベント・会議名	主催	会場	参加人数
2017/7/22～28	ロボカップ2017世界大会	ロボカップ国際委員会他	名古屋市国際展示場他	100,000
2018(開催日未定)	2018女子世界選手権(2018世界バレー)	国際バレーボール連盟(FIVB)	未定	不明
※ 2019/8/31～9/7	第25回世界博物館会議(ICOM2019)	ICOM(イコム、国際博物館会議)	国立京都国際会館	3,000
2019/8月下旬	2019年世界柔道選手権大会(第37回世界柔道選手権大会)	国際柔道連盟(IJF)	東京	不明
※ 2019/9/20～11/2	ラグビーワールドカップ2019TM	ワールドラグビー	全国12会場	不明
2019/10/16～10/20	ウィルチエアースポーツワールドチャレンジ2019	日本障がい者スポーツ協会他	東京体育館	不明
2019/12月上旬～中旬	2019年女子ハンドボール世界選手権	国際ハンドボール連盟	熊本市及び県内市町村	不明
2019(開催日未定)	フィギュアスケート世界選手権	国際スケート連盟(ISU)	埼玉県(予定)	不明
2020/7/24日～8/9	東京2020オリンピック競技大会	国際オリンピック委員会(IOC)	東京都他	不明
2020/8/25～9/6	東京2020パラリンピック競技大会	国際オリンピック委員会(IOC)	東京都他	不明
2020年10月上旬 1週間程度	World Robot Summit	新エネルギー・産業技術総合開発機構・経済産業省	愛知県空港大規模展示場他	不明
※ 2021/5/15～5/30	ワールドマスターズゲームズ2021関西	国際マスターズゲームズ協会(IMGA)	関西各地	50,000
2021(開催日未定)	第19回世界水泳選手権と世界マスターズ選手権	国際水泳連盟(FINA)	福岡市	不明
(※) 2025(開催日未定) ※2018年11月開催地決定	国際博覧会(万博)	博覧会国際事務局(BIE)	大阪府が応募	不明

(注) 事務局調べ、※は関西広域連合管内で開催予定の開催事